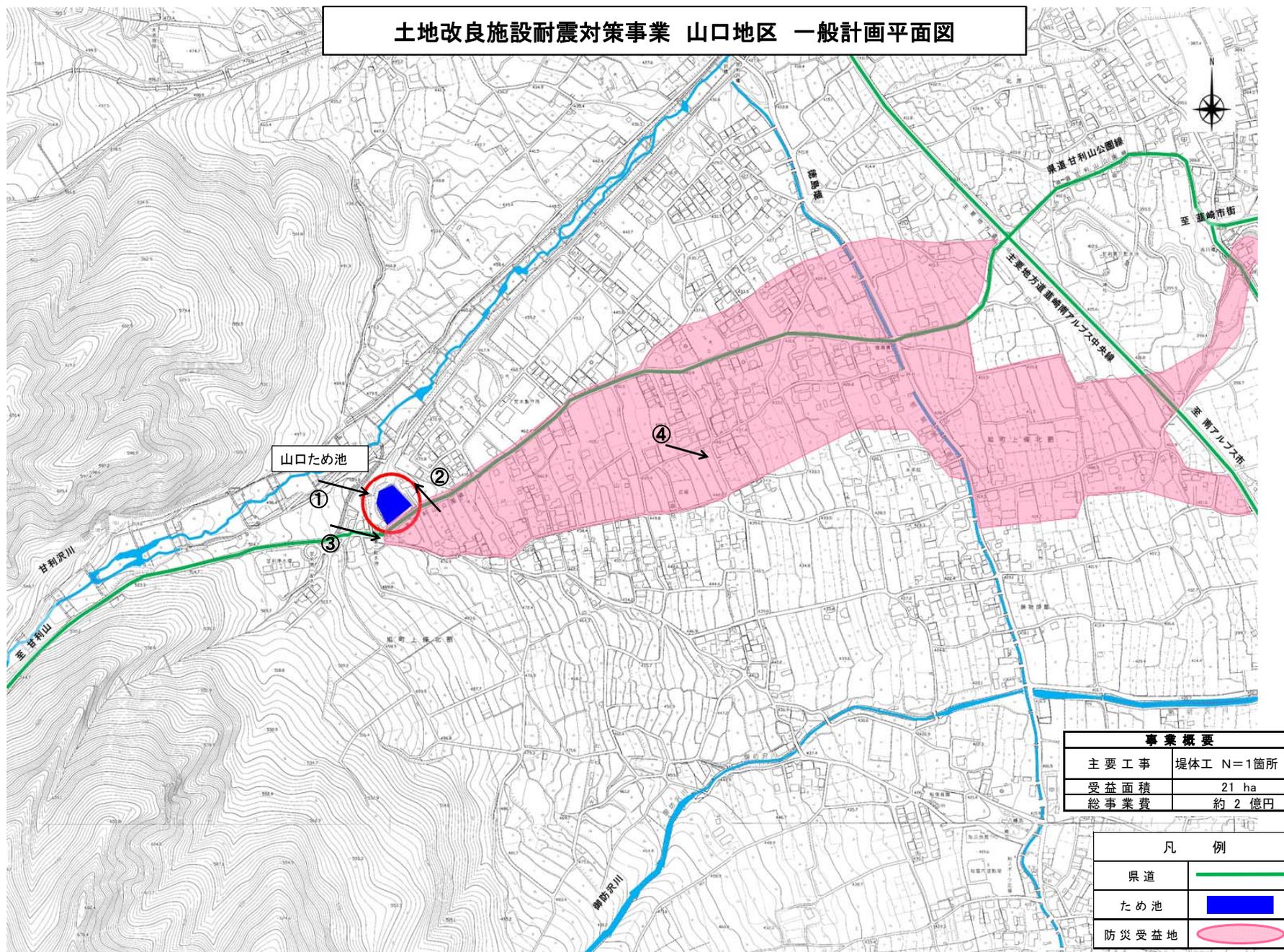


1. 事業評価説明シート

事業名	土地改良施設耐震対策事業(国補)	事業箇所	蕨崎市旭町上條北割	地区名	やまぐち 山口	事業主体	山梨県									
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 本ため池は、蕨崎市南東部に位置し、水田への用水供給のための重要な農業用施設である。一方、ため池の堤体は築造から80年以上が経過している。ため池堤体の機能診断の結果、堤体が地震時に所定の安全率を満足しておらず、また、ため池の沈下等が発生していることが判明した。堤体下流域には人家、市道等があり、大型地震の際には甚大な被害のおそれがあることから、早期に耐震化対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び住環境の安全を図るものである。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 <input type="checkbox"/> 洪水被害危険度の軽減 ・ため池決壊の構造的危険度 94点 ≥ 67点 ※ ・ため池決壊に伴う下流域への影響度 39点 ≥ 9点 ※</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 <input type="checkbox"/> 農業用排水能力の向上 ・施設老朽度(使用年数86年) ÷ (耐用年数40年) = 2.20 ≥ 1.00 ※ (※評価基準値) ・用排水能力の向上(計画排水能力0.22m³/s) ÷ (現況排水能力0.11m³/s) = 2.0 ≥ 1.0 ※ (※評価基準値)</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 <input type="checkbox"/> 農地の保全 <input type="checkbox"/> 既存施設の崩壊危険性の排除 <input type="checkbox"/> 重要プロジェクトとしての位置づけ (新・やまなし農業大綱)</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・本地区は食料・農業・農村基本法に位置づけられている農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資することから行政が行うべきである。</p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・土地改良法施行令第50条第1項1の3により県が事業主体となって行うべきものである。</p> <p>③経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 費用便益費 便益(B)/費用(C) = 1.98 > 1.0 ・便益(B) = 424百万円、・費用(C) = 214百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・災害に強い施設に改善する上で必要な整備量としている。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・受益面積規模、事業対象工種から、ため池等整備事業で対応することが妥当である。</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・工事の際は、環境等への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・早期着工の要望有り</p> <p style="text-align: center;">総合評価 [貢献度ランク: a] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>【事業位置図等】</p> <p style="text-align: center;">(省略)</p>												
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 堤体工 N=1箇所</p> <p>②着手年度 平成30年度 ③完成見込年度 平成32年度</p> <p>④総事業費 約200百万円 (国費100百万円(5.0/10) 県費68百万円(3.4/10) 市費32百万円(1.6/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">平成30年度</td> <td style="width: 45%;">測量・設計</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">20百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>堤体工、測量・設計</td> <td style="text-align: right;">160百万円</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>付帯工</td> <td style="text-align: right;">20百万円</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 既整備内容・期間・事業費 ・該当なし</p>				平成30年度	測量・設計	20百万円	平成31年度	堤体工、測量・設計	160百万円	平成32年度	付帯工	20百万円				
平成30年度	測量・設計	20百万円														
平成31年度	堤体工、測量・設計	160百万円														
平成32年度	付帯工	20百万円														



2. 添付資料シート(2)



① 山口ため池の全景



② 堤体の安定性が確保されておらず地震時に堤体が決壊する危険がある。

ため池堤体安定計算



③ 堤体直下には人家があり、大規模地震の際には甚大な被害のおそれがある。



④ ため池下流の受益農地(水田)の状況